

学校長あいさつ

宇都宮市立清原東小学校長 長谷川 正子

本校は、明治25年に創立し、今年133年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

宇都宮市の東端に位置し、東は芳賀町、南が真岡市と隣接している本校の学区は、緑豊かな地域で水田や野菜畑、果樹園や雑木林が広がっています。さらに、内陸型工業団地としては国内最大規模の清原工業団地も学区内に含まれているため、多くの工場が集まり、その周辺には各種の公共施設も点在しています。

これら自然と産業に関わる豊富な教育資源を生かしながら、「やさしい子・まなぶ子・たくましい子・はたらく子」という本校の教育目標のもと、令和7年度は、「思いや意図を共有し、友達と音楽を合わせる楽しみを感じながら、主体的に生き生き学ぶ児童の育成」を研究課題に掲げ、全職員が一丸となって教育活動を展開しております。

また、本校では「人」「自然」「文化」とのふれあいを通して、児童一人一人が自らの生き方を考え、将来の夢を膨らませるとともに、その実現に向けて意欲的に挑戦する態度の育成を図るため、「夢のかけ橋プロジェクト～ふれあいを通じた自己の生き方の追及～」を実践しています。地域の施設・企業・団体等の協力を得て、縦割り班で取り組む「ふれあい発見ラリー」は、特色ある教育活動の一つです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、本校の施設も大きな被害を受けましたが、平成26年10月に校舎等の改修工事が終了し快適な教育環境が整いました。その間、保護者や地域の皆様には、多大なるご支援をいただきました。

令和4年11月には、創立130周年式典・バルーンリリースを実施し、児童・教職員・保護者とともに、学校に関わる人々の幸せや、本校のさらなる発展を願いました。

令和7年度は児童342名、教職員30名でスタートしました。子供たちの健全な成長をめざして、より良い学校づくりに全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(令和7年4月)